

## <参考資料>

- 1) 柏木広哉:目に副作用を生じやすい抗腫瘍薬.あたらしい眼科.2021;38(11):1291-1299.
- 2) 柏木広哉:抗腫瘍薬による眼障害—近年の報告を中心に.眼薬理.2017;31(1):12-19.
- 3) Tabuse H, Kashiwagi H, Yasui H, *et al*. Excessive watering eyes in gastric cancer patients receiving S-1 chemotherapy. *Gastric Cancer*. 2016;19(3):894-901.
- 4) 大中誠之:黄斑浮腫.大路正人,高橋寛二,他(編):これだけは知っておきたいポイント加齢黄斑変性.医薬ジャーナル社.2016;92-94.
- 5) 柏木広哉:抗がん剤S-1による涙道閉塞・狭窄.あたらしい眼科.2013;30(7):915-921.
- 6) 安井博史(監):目の副作用対策 9 抗がん薬治療を継続するための「目に現れる副作用」の対処法.がんサポート.2013;126:56-58.
- 7) 柏木広哉:外来化学療法における副作用対策 (6) 眼障害.コンセンサス癌治療.2012;11(4):224-226.
- 8) 柏木広哉:抗がん剤による眼障害—眼部副作用—. 癌と化学療法. 2010;37(9):1639-1644.
- 9) 澤田武志,佐々木栄作:眼障害. 岡元るみ子,佐々木常雄(編):がん化学療法副作用対策ハンドブック. 羊土社. 2010;115-117.
- 10) Chikama T, Takahashi N, Wakuta M, *et al*. Noninvasive deirect detection of ocular mucosistis by in vivo confocal microscopy in patients treated with S-1. *Mol Vis* 15:2896-2904,2009.
- 11) 高橋典久,近間泰一郎,西田輝夫:抗癌剤(TS-1)による角膜上皮障害. 臨床眼科. 2009;63(2):176-178.
- 12) 塩田圭子,田邊和子,他:経口抗癌薬 TS-1 投与後に発症した高度涙小管閉塞症の治療成績. 臨床眼科. 2009;63(9):1499-1502.
- 13) 立花敦子,稲田紀子,他:抗悪性腫瘍薬 TS-1 による角膜上皮障害の検討. 眼科. 2009;51(6):791-797.
- 14) 坂本英久,坂本真季,他:抗癌剤 TS-1 内服による角膜障害の 1 例. 臨床眼科. 2008;62(3):393-398.

- 15)細谷友雅,外園千恵,他:抗癌薬 TS-1 の全身投与が原因と考えられた角膜上皮障害. 臨床眼科. 2007;61(6):969-973.
- 16)上野脩幸,渡辺牧夫,他:タモキシフェン角膜症-細隙灯顕微鏡および電子顕微鏡所見-. 眼科. 2008;50(7):951-957.
- 17)岡本敬子,賀島誠,他:タモキシフェン網膜症の 1 例. 臨床眼科.2004;. 58(6):987-990.
- 18)柏野緑,加茂雅朗,他:乳癌アジュバント療法中に発症したタモキシフェン網膜症の 1 例. 臨床眼科. 2006;60(9): 1657-1660.
- 19 西村真一郎:白血病治療による合併症と対策 ara-C.小児内科.2005; 37(9):1199-1203.
- 20)加藤秀紀,尾本聡,他:ドセタキセルによって涙道閉塞をきたした3例. 臨床眼科. 2004;58(8):1463-1466.
- 21)伊藤正,奥田政俊:抗癌剤パクリタキセル使用中に嚢胞様の黄斑症を呈した 1 例. 日本眼科学会雑誌. 2010;114(1):23-27.
- 22)山口建(研究代表者):厚生労働科学研究費補助金「がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書 概要版」.2004.
- 23)吉田清一(監),栗原稔,佐々木常雄(編):がん化学療法の有害反应对策ハンドブック. 先端医学社. 2004;245.
- 24)大江裕一郎(監):ザーコリカプセルを服用される方へ.ファイザー株式会社. 2012.
- 25)柳靖雄(監):アブラキササンによる眼の副作用(黄斑浮腫)の早期発見と重篤化防止のために.大鵬薬品工業株式会社.2013.
- 26)大中誠之:黄斑浮腫.大路正人,高橋寛二,他(編):これだけは知っておきたいポイント加齢黄斑変性.医薬ジャーナル社.2016;92-94.